

## 第5回政策調整会議結果報告

1 日 時 平成25年10月25日（金）9時00分～15時00分

2 場 所 役場2階 審議室

3 出席者

《構成員》副町長、総務課長、教育振興課長、保健福祉課長、建設水道課長、町民生活課長、産業振興課長

《庶務》総務課企画財政班 主幹、主査

4 内 容

### （1） 公民館分館事業（東中会館）

#### 〔事業内容〕

- ・経年劣化が著しい箇所について改修を実施する。  
屋根改修（既存の屋根の上に重ねる）、外壁塗装と内窓等の設置、玄関扉の改修及び風除室の設置

#### 〔総括〕

- ・地域に現存するコミュニティ施設の今後のあり方（当会館改修に係る費用対効果を含む。）について、早急に住民会と協議し、方向性が示されたあとに再協議とする。
- ・必要性→A、効率性→B、公平性→A、緊急性→A、方向性→実施

### （2） 運動公園整備事業

#### 〔事業内容〕

- ・駐車場に設置されているトイレ（男女共和式（汲み取り））が老朽化及び下水道整備されていないことから、施設更新を実施する。

#### 〔総括〕

- ・事業実施に伴う設計等に係る経費及び施設構造等について再検討し実施する。
- ・必要性→A、効率性→A、公平性→A、緊急性→A、方向性→見直し実施

### （3） 社会教育総合センター整備

#### 〔事業内容〕

- ・社会教育総合センター屋根塗装（2,824㎡）

#### 〔総括〕

- ・担当案のとおり実施とするが、併せて外壁改修を実施することの合理性及び費用対効果について調整すること。

- ・必要性→A、効率性→A、公平性→A、緊急性→A、方向性→実施

#### (4) 農村災害対策整備事業（排水路整備事業）

##### [事業内容]

・集中豪雨によって、住宅への浸水被害及び農地冠水の被害が顕著かつ恒常化してきているため、根本的な被害防止対策を図る。

旭日川：排水路 L = 1,235m 日の出：排水路 L = 2,465m

西1線日の出：排水路 L = 1,689m 富原：排水路 L = 675m

草分：排水路 L = 6,064m

##### [総括]

・担当案のとおり実施とするが、旭日川については、河川整備事業として事業展開が可能か研究・調査すること。また、早期完了をめざすため継続的な要望活動の展開を推進すること。

- ・必要性→A、効率性→A、公平性→A、緊急性→A、方向性→実施

#### (5) 北17号農道整備事業（農地整備事業：通作条件整備）

・各集荷施設につながる産業道路として整備を図ることで、生産性の向上や収穫農産物の円滑な運搬、さらには地域住民の生活道路として、利便性と安全性の向上を図る。

##### [総括]

・農地基盤整備事業と合わせた整備が強く望まれていることから、担当案のとおり実施する。

- ・必要性→A、効率性→A、公平性→A、緊急性→A、方向性→実施

#### (6) 生活支援恒久対策事業

##### [事業内容]

・高齢者や障害者、ひとり親世帯、さらに低所得世帯など社会的な生活を営む上で、弱い立場なある方々が、地域の中で安心して過ごせるよう様々な生活支援策が講じられているところであるが、時代の変化等に応じて、自助努力と公的支援のあり方を含め、真に支援を必要とする方に必要な支援が行き届いているか、絶えず見直しを図りながら、時代の要請に応える恒久的な生活支援策の構築を図る。

##### [総括]

・真に支援を必要とする方に必要な支援事業になるよう、担当案について再検討し実施する。

また、担当案のうち「成人期歯科検診事業」については、健康増進計画である「健康かみふらの21」における事業に位置づけ、次回政策調整会議において事前

評価を行う。

- ・ 必要性→A、効率性→A、公平性→A、緊急性→A、方向性→見直し実施

(7) 扇町団地町営住宅ストック総合改善事業（水洗化事業）

**[事業内容]**

・ 上富良野町公営住宅長寿命化計画に基づき、建替事業実施まで10年以上ある扇町団地についてストック総合改善事業（水洗化事業）を実施し、建替えまでの住環境を整備し、居住水準の向上を図る。

**[総括]**

- ・ 担当案のとおり実施とする。
- ・ 必要性→A、効率性→A、公平性→A、緊急性→A、方向性→実施

(8) 公共下水道不明水対策事業

**[事業内容]**

・ 老朽化により継目等から雨水・地下水が流入し、終末処理場における処理能力を超える流入が頻発している。

また、地下水利用者と推測される使用量についても全体に影響する増加量であるため、不明水量の調査及び補修工事等の対策事業を平成26年度から5年間で実施し、施設維持を図る。

**[総括]**

- ・ 事業内容等について再設計したうえで、再評価すること。

(9) 公共下水道雨水管路点検事業

**[事業内容]**

・ 老朽化によりコンクリート管にはひび割れ等が発生し、排水障害による溢水、道路陥没による交通事故等が懸念されるため、管路内部の状況を調査し、部分補修を実施し、施設維持を図る。

**[総括]**

- ・ 事業内容等について再設計したうえで、再評価すること。